

東京都健康長寿医療センター
センター長挨拶

センター長 許俊鋭

東京都健康長寿医療センターは明治5年に設立された生活困窮者救済施設である「養育院」を源流としています。100周年を迎えた昭和47年に日本の将来の高齢化を見越して、高齢者医療・福祉および研究に特化した後の東京都養育院附属病院と東京都老人総合研究所が設立され、平成21年には病院と研究所が一体となって「地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター」として再出発しました。

今日、日本の人口の30%近くが65歳以上の高齢者となり、増加していく認知症対策が高齢者医療・福祉の最大の課題となっています。

「認知症未来社会創造センター」は「未来の東京」戦略ビジョンにおける『認知症との共生・予防推進プロジェクト』であり、認知症患者が尊厳と希望をもって暮らせる社会の創造を目標としています。私共は総力を挙げて『認知症と共生する豊かな未来社会』を構築していく所存でございますので、ご支援ご鞭撻を宜しくお願い致します。